



さて、BLSでの3日目が始まりました。初日に比べて、多くの生徒が随分と多国間交流と授業に慣れてきて、少しずつ余裕をもってきたようです。まだイギリス人教師の話すスピードに対応できてない時もあるようですが、「まずは内容を大まかに把握してごらん」とアドバイスをしました。

ー昨日と昨日の昼休みには万代高校の生徒だけで過ごしていましたが、今日はイタリア人のグループと談笑する姿が見られました。また、簡単な日本語とイタリア語をお互いに教え合っている場面も見られました。日本を発つ直前のロシア青少年使節団との交流の経験が活きたのかもしれませんが、ここでの授業は今日を含めて3日間しかありませんが、「人と人が交流するのに最も必要なのは言葉ではなく、他者に対する友好的な態度と、限られた時間を楽しもうとする積極的な好奇心だな」と改めて感じさせられました。



午後には幾つかのグループが校外活動するというので同行しました。課題内容は見知らぬ人をお願いして質問に答えてもらうというものでした。語学力の問題もありますが、日本語でも難しい課題に不安を抱いたことと思われます。しかし、勇気を振り絞って道行く人に声をかける姿には感動すら覚えました。

現地時間18時。ホストファミリーの迎えを待つ1人の生徒が「日本に帰りたくない」と言っていました。この生徒の帰国直前の言葉が楽しみです。

(報告者:渡邊大介)